

ChatterboxIII

—変化を伴い持続する4人—

2022年8月29日(月)～9月3日(土)

飯沼 知寿子

Chizue Imanuma

斎藤 英子

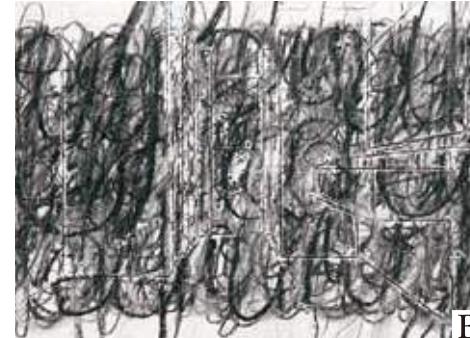
Eiko Saito

釘町 一恵

Kazue Kugimachi

間々田 佳

Kei Mamada



B



C



e



F

飯沼 知寿子

1984 神奈川県生まれ
2008 第23回ホルベイン・スカラシップ奨学生
2010 東京造形大学大学院 造形研究科 修了
2017 第53回神奈川県美術展 厚木市文化振興財団賞 受賞
神奈川在住・活動

斎藤 英子

東京都生まれ
1979 女子美術短期大学造形専攻生活デザイン教室 卒業
1980 女子美術短期大学専攻科造形専攻生活デザイン 修了
1980~'81 女子美術短期大学造形専攻生活デザイン研究室
副手勤務
1981~'83 茨城県笠間市 陶芸家 伊藤東彦師に学ぶ

個展

2021 藍画廊、東京
2020 藍画廊、東京
2016 トキ・アートスペース、東京
2015 GALERIE SOL、東京
2014 トキ・アートスペース、東京
2013 ギャラリーなつかC-View、東京
2012 土日画廊、東京
2011 神山町 旧梅里/空家、徳島
2010 ギャラリーなつか、東京
2009 ギャラリーなつか、東京
2008 ギャラリー21+葉、東京
2007 ギャラリーなつかb.p、東京
2006 トキ・アートスペース、東京
2005 ギャラリー21+葉、東京
1999 「Blue Moon -vol.2」ギャラリー21+葉ANNEX、東京
1998 「∞・時空 よくばりアンテナピッピー」小野画廊、東京

その他

2018 「CONSTELLATION 2018」練馬区立美術館、東京
2015 「遊・桜ヶ丘 現在進行形 野外展2015」
桜ヶ丘コミュニティーセンター、東京
2014 「除夜舞37周年」キッド・イラック・アート・ホール、東京

間々田 佳

1989 千葉県生まれ
2013 武蔵野美術大学造形学部 卒業
2015 武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程 修了

個展

2020 「[時間]×[空間]→間」ギャラリー檜、東京
2016 「間々田佳展」ギャラリー檜、東京

主なグループ展

2022 「鉄展」ギャラリーKINGYO、東京
2021 「interactive 2021」ギャラリー檜、東京
2019 「晴れやかな諦念」ギャラリー檜、東京
2018 「自由を生む中庸」ギャラリー檜、東京
2017 「開かれた孤独」ギャラリー檜、東京
「草原展 立体の部」ギャラリーKINGYO、東京('18, '19)
「1000枚ドローイング展」ギャラリーKINGYO、東京('19)
2016 「第5回ダービー展」ギャラリーKINGYO、東京
「interactive -YOUTH-」ギャラリー檜、東京 ('17~'19, '21)
2015 「東京五美術大学連合制作展」国立新美術館、東京
2013 「小平アートサイト'13」東京小平市
「アートプログラム青梅 4大学生展『蓋はなくなった』」
東京青梅市

B

e

C

F

体現したいと思って進学した。今思えばそれは小学生版ハウスクだった。生活者としてどういう目を持つたらいとか、小学生なりにいろんな角度から美術を捉えるアプローチをしてくれた先生だった。一番覚えてるのは東京大空襲²の経験談。焼夷弾がいっぱい落ちて火災旋風が起きる様子を、赤いチョークがもうバンバン飛ぶような形で黒板に描かれる。先生が目にした地獄絵図中に起きてることの繋がりを助言してくれた人が傍にいたら、すごくありがたいよね。

釣町 そうですね。自分で開拓して探さないと。

釣町 その為のメタ知識ですね。だけど自分からこだわりがないと動かないから。

飯沼 自分で求めた時がやり時ですよね。

間々田 なるほど。思い立ったが吉日！

釣町 それそれ(笑)。

飯沼 間々田さんは割に、強さやたくましさを志向してきたようですが、96年的小学校入学で既に男女混合名簿だったそうですね。

間々田 誕生日順だったんで前は女の子で後ろは男の子だったような。幼稚園も前の男の子を蹴って遊んでたから混合でしたよ。

飯沼 85年の世界女性会議⁴で、幼稚園から高校まで男女別の名簿を使っているのは18カ国中、日本とインドだけだったそうですが日本では99年にはやっと混合名簿の推奨を始めました。その点でも間々田さんは早いうちからジェンダー・ニュートラル⁵に近い教育を受けてきたたと思つんですけど、社会に出た時にギヤップつて感じませんでした?

間々田 うーん、割と鈍感なんですよね。女性の人が、若い女の子を気にかける一方で、その容姿や能力を貶める発言をしたのにびっくりしたことはあります。女人から聞くことのほうが多いかもしれないですね。

釣町 女性のミソジニー⁶つていうのもあるのかな。

飯沼 ミソジニーって、女性を男性的連帯から排除して対象化することなんですよね。

釣町 残る子なら克服していくし、自分の眼もちゃんと育てていくと思う。

間々田 原石という言葉を使えば、磨かれていますよね。外に出すことで。

飯沼 それは残る子であるのと同時に残す周りであることの両方が大事ですよね。

間々田 はあー。

釣町 どうした!?

間々田 お話を聞いていると、あの時ああるんですけど、それは良かつた、もっと一緒に探求してあげれば良かつたと思う教え子がいて。その子が飯沼さんのおっしゃる、原石みたいな作品を作つていたんです。デリケートな内容だから

らつて逃げないで、もつと掘り下げてあげれば良かったな。対話していく中で磨かれたりするじゃないですか、自分の作品もそうですね。

釣町 なのに私、言葉が足りないっていうか対応が足りなかつたなって。色々アドバイスはしたんですけど、通過点とは思つていてなくて一緒に悩んじゃつたんで。もうちょっと引いて、教員としてこう…。

間々田 でもその子がそれを自覚しているんだしたら、きっと大事に守つてると思つます。降つて湧いたものじやなくて、たぶん幼少の頃から繋がつてはづだから。

連続と積層

斎藤 間々田さんの作品の資料の中で赤い紐が結んである作品を見た時、この紐は何だろうって思つたの。間々田さんにとって。

間々田 色に関しては鉄を溶かしたり、熱延¹する時の色からまいています。鉄つて元は自然物ですけど、人工物なので、木や石よりも人間に近い。作者と作品と見る人を結びつけてくれる、そういう素材として鉄をよく使っています。紐は形態を結びつける意味合いで、そのポイントを強く意識させたいといふのがあります。

釣町 紐の部分を鉄で作られる方もいるじゃないですか?でも紐なんですよね?

間々田 そうですね。組んであるというか、積層させるじゃないですか、こういう部分を見て欲しかった。

釣町 鉄を使われるのに育つた環境の影響もあるそうですね。製鉄所の風景?

生々しく表出した作品に嫌悪感を覚えたのもそれだろうなど、今は思うわけですが。

斎藤 社会的には結構強いかもしれない。

飯沼 さつき釣町さんが未消化の作品について、通過点として必要とおっしゃって、本当に開拓して探さないと。

釣町 敢えてやらせているんじゃないかと

斎藤 美大で女性だけのプログラムを作つて、学生とでも原石であることを認めて、その制作の展開を助言する力が他の指導者に足りなかつたんですよ。その状況には既視感が

あります。最近、釣町さんがそういう学生の表現で自分で考えろつことじやないかなと。

飯沼 も、主体性を取り戻して自分の制作をしてきた学生達が、プログラムの一步外に出たら酷評に合うわけなんですね。それが未成熟だ

釣町 表現したいことを探らせたんです。でも、

斎藤 まだ若い学生達が、プログラムの一歩外に出たら

飯沼 うなづかれてきたたと思つんですけど、社会に出た時にギヤップつて感じませんでした?

間々田 うーん、割と鈍感なんですよね。女性の人が、若い女の子を気にかける一方で、その容姿や能力を貶める発言をしたのにびっくりしたことはあります。女人から聞くことのほうが多いかもしれないですね。

釣町 女性のミソジニー⁶つていうのもあるのかな。

飯沼 ミソジニーって、女性を男性的連帯から排除して対象化することなんですよね。

釣町 残る子なら克服していくし、自分の眼もちゃんと育てていくと思う。

間々田 原石という言葉を使えば、磨かれていますよね。外に出すことで。

飯沼 それは残る子であるのと同時に残す周りであることの両方が大事ですよね。

間々田 はあー。

釣町 どうした!?

間々田 お話を聞いてると、あの時ああるんですけど、それは良かつた、もっと一緒に探求してあげれば良かつたと思う教え子がいて。その子が飯沼さんのおっしゃる、原石みたいな作品を作つていたんです。デリケートな内容だから

間々田 鉄より紐のほうがより人間に近いというか。鉄も、自分で削つたりしていると柔らかいとは思つんですけど、より、見る人

釣町 女性嫌悪って訳されますけど、社会の中で女性がその意識を内面化することが、女性同士の分断を生んでいます。私が女性性の

間々田 そうですね。自分の作品がちょっとありますけど。

飯沼 積層と言えば昨年末に観た小品の、多彩な色紙の重なる断面が目を引きました。鉄の作品は、その独特な色味が作品の要素になることが多いと思うんです。そうではなくて、いわゆる赤とか黄色とか明快な色を扱うのは、やっぱり意識的なことですか?

間々田 そうですね。自分の作品がちょっとぶつきら棒過ぎると却つて、色々考えたり思つたりする楽しみがないなど。もうちょっとと作品を自立させたい感じ…。鉄だけだと、その

間々田 があつたほうがいいと思うんです。ですが言わなき過ぎると却つて、色々考えたり思つたりする楽しみがないなど。もうちょっとと作品を自立させたい感じ…。鉄だけだと、その

間々田 がつこい素材に頼り過ぎのようで、小品では色々な素材を扱つています。プラスチック

釣町 とか、鉄以外の金属を触つてみたりして。でもやつぱり鉄かな。削つている時に手にしつく

間々田 くりくるんです。ステンレスやアルミは引つ掛けが多いです。相性が悪いって感じなんですけど、鉄は粘りがちようどいいんですね。

釣町 石とかじやないんですね。石は石で、木は木じやないかって。石彫や木彫の人に怒られそうですね(笑)。

間々田 自然物だと思つちやう。石は石で、木は木じやないかって。石彫や木彫の人に怒

飯沼 そう考えるに確かに、鉄は自然と人間の中間つていう感じがします。間々田さん

が鉄を使われるのに育つた環境の影響もあるそうですね。製鉄所の風景?

実験と確認の道のり

斎藤 間々田さんは、陶からインスタレーション

1. 「熱間圧延」の略。加熱して柔らかくした金属を回転するロールで引き延ばし、板状・棒状にすること。

2. 1919年、ワイマル共和国に設立された美術学校(1933年閉鎖)。全ての芸術の統合を目指す美術教育システムを確立。大量生産中心の工業化社会と芸術のあり方など、多分野に影響を与える。

3. 様々な活動領域に応用可能な高次の知識。知識を生産する知識。4. 女性の地位向上を目指して開かれる国際連合主催の世界会議。1975年以来、5~10年ごとに開催。1985年はナリオビで開催(第3回)。5. 性やジェンダーに縛られない言葉や思考、社会制度。6. 女性嫌悪。アメリカの社会学者イヴ・セジウック(1950-)はホモソーシャル(男同士の絆)とホモフォビア(同性愛恐怖)を含めた三つの概念により、異性愛が男同士の絆の為に自然化された制度であると喝破した。

7. アメリカの美術家でフェミニズム・アート運動の中心的人物。(1939~)

地盤をもつ新しい表現

飯沼 釘町さんの作品は、日本の洋画の流れを汲んでいるなって思うことがあって。塗り込めていく感じとか絵の具の質感とか。洋画と言うと古臭いようすけど、新しさがある。それは色彩の為だと思うんです。あの鮮やかさ！

釘町 私が絵を作るにあたって、油絵の具のアカデミズムはもうあまり関係ないんですけどね。むしろ別の要素が自分の中にどんどん入っているので、その延長で作っている意図はないかと。

飯沼 最近流行りの絵に、絵の具の表情が薄づらなもしくはすごく盛り上がっているものがあるじゃないですか。

釘町 はいはい。盛り上がりがつてる人いる。

飯沼 地が見えるほど透き通っている人いますよね。

飯沼 どちらも画像的な感じがするんですね。それは現代的かもしれないけど、そういうものと全然違つて、いい意味で日本の洋画の歴史を吸収してきたところに釘町さん独自の表現が立ち上がる感じがして、それがすごく面白い。新しいんだけども、地盤がある根っこがある。その思考的なこととか、絵の具への向き合い方とか。

釘町 先ほどの言葉を借りるなら、自分の表現の文体、それに対してストイックですね。それはすごく思います。油絵もそうだし、ドローイング¹での素材の使い方がすごく魅力的なんですね。だからもう、見るため息。

方の表現が行き来して、だいぶ壁がなくなってきた。そのカタゴライズがようやく無意味になつたわけです。

斎藤 カタゴライズ大嫌い。

釘町 そうですね。ただ、嫌いでもそれはスッと捨てられるものでもなく、逆に自分の作品の土台として必要だつたりもするんですね。その兼ね合いが、最近自由になつてきました。

飯沼 その葛藤は、きっと私が学生の頃に抱えていたものと似ているんだろうなと。

釘町 違うかも知れないと似てると思ひます。

飯沼 釘町さんが作つて描いていたものは抽象的な形なんですか？

釘町 小中学生の時から、体温で温めて柔らかくなる粘土をいつも小さい缶に入れて持ち歩いてました。病院とか駅の待ち時間にパカッと開けて出して、何かできつてしまつて、有機的で人体に近い形ですね。箱を開けた時に壊してまた始めて。

飯沼 よく練り消しゴムでそういうことをしましたね。

斎藤 練り消しをちぎつて広がつていく時の切れ方 私はあれが楽しくて。

釘町 餃子作る時とかね。料理も割と道具より手でやることが多いかも。手で混ぜたり捏ねたり、そのほうが心地いい。

問々田 問題はありますよね。作つてあるアートはどこにもあつて繋がつてている。

釘町 恐れ入ります。

飯沼 それこそ、釘町さんの文体だなって思う。

斎藤 釘町さんは粘土でアクリルミたいなのも作つてますね。

釘町 学生時代から、描くためのモチーフ²を自分で作つたりしてました。ドローイングをして、それを基に描くのと同じ感覚です。

それが仕上げまで残つてなくてもいい。それを描き入れたことが、ただ自分にとって必要なことで。あと、色は自分にとって魅力です。

よく、ちょっとしたお茶タイムに器や敷物などの色合わせをして、SNSに写真を上げたりします。

飯沼 色合わせっていうのは？

釘町 デッサン³の時とか、モチーフを構成するじゃないですか。それをスマホの画面の中で構成するっていう遊びです。

問々田 スケッチ⁴みたいな感じですね。

釘町 そんな感じ。着物を着る時にも同じようにします。

斎藤 着物で色合わせって言葉を使いますね。着物と半襟の襟元の色の合わせ方、顔写り、着物の柄と肌の色との間にどういう色を合わせるか。

釘町 いわゆる古典ですね。だけど私の場合、例えは大島紬をただ着るとおばあちゃんになつちやうからショッキングピンクを合わせてみよう、とか。お遊びなんですね。ストイック過ぎても自分で面白くなつてしまふので。

問々田 間々田 釘町さん、着物を着られるんですね。私も時々着るんですよ。着物の合わせを

釘町 楽しいです。最近、合わせが自分の作品に近づいて気が付きました。着物は祖母や叔母から貰ったものなんですか？

問々田 もっと私生活を利用していかないでください。

斎藤 とだめなんですね。

釘町 楽しんでいます。

斎藤 楽しまないと生まれないもんね。

抽象か具象か

飯沼 釘町さんは抽象的な油彩と、具象的なドローイングを並行してなさつてますたけど、それが少しづつ変わってきていますか？

釘町 人の形は失なわれていくものなので、人の形を取らずに人を表現したい。それが油絵の表現の根幹にずっとあります。ところが抽象を続けてると反動で、形を実際に見

て描きたい欲望が出てくるんです。それで、ドローイングではモデルさんなどを見て描いてました。発表はドローイングで具象的な表現、油彩で抽象的な表現と分けてしていて、思えば具象的な絵が評価されない時代を経ていたので、それが縛りになつてました。抽象か具象か、どちらいいんだろ

う？どちらかである必要があるんだろうか？自分の心許なさ…。表現が何かに属していないと評価されないんじやないかとい

う、若い故の葛藤があつたんだと思います。だけど、ひたすらドローイングすることで双

1. 線を引く(draw)行為に重きを置く線画のこと。構築的な絵画に対し、イメージや感情などを引き出す(draw)即興的または習作的なものを指す場合もある。 2. 絵画・彫刻などの芸術作品で、表現の動機・きっかけとなった中心的な思想・思い、または題材。 3. ベンや木炭、鉛筆などによる習作。無彩色の即興画を意味する場合もあるが、日本では美術教育の基礎訓練として、対象を見たまま正確に描くアカデミックな価値観が色濃く残っている。 4. 人物や風景などを大まかに描写すること。写生、素描、ドローイングともいう。

